

第1回 摂食・嚥下コーディネーター資格認定試験解答

問1.

1. 軟口蓋
2. 口蓋垂
3. 奥舌
4. 舌根
5. 舌尖
6. 喉頭蓋谷
7. 喉頭蓋
8. 舌骨
9. 声帯
10. 甲状軟骨

問2.

嚥下障害を疑う臨牀所見について5つ述べよ。

口唇からうまく取り込めない，流涎がある，口唇から食物がこぼれる
口の中に残る，舌が上手に動かない，舌で食べ物を送り込めない
話が聞き取りにくい，声が鼻に抜ける，水分や食べ物が鼻から出てくる，声がかすれる
ゴックン(嚥下反射)が出てこない，いつまでも咀嚼している(嚥下反射が遅れる)
食事に時間がかかる，
飲み込めるが喉に残る，食道が開かない
痰が出せない，咳がうまく出来ない
呼吸が不規則

問3.

嚥下運動における舌の機能を4つ説明せよ。

- ① 口腔に取り込まれる食物の性状を確認する
- ② 捕食された食物を臼歯の上に運び，保持する
- ③ 口蓋に食物を押しつぶす
- ④ 咀嚼された食塊を口腔内で唾液と混和する
- ⑤ 形成された食塊を咽頭に送り込む
- ⑥ 味覚やその他の感覚の受容器
- ⑦ 嚥下反射を誘発する(舌根部の粘膜)

問4.

口腔ケアを積極的におこなうことで得られる効果を4つ述べよ。

- ① 口腔衛生状態の改善と維持
- ② 歯周疾患、むし歯の予防、改善
- ③ 肺炎予防
- ④ 口腔機能、嚥下機能の改善
- ⑤ 口臭の改善
- ⑥ 唾液分泌増進
- ⑦ 栄養状態の改善
- ⑦ おいしく安全に食べることに繋がる など

問5.

口腔ケアをおこなう際に拒否がある、口を開けてくれないなどの症状がある場合の原因とその対処法を3つ述べよ。

- ①口腔過敏→過敏の除去(脱感作)をおこなう
- ②痛みがあるため→口腔ケア用品、手技の見直し、むし歯や歯周疾患、粘膜疾患がないかの確認と治療の検討
- ③随意的な開口が困難→開口器などの使用
- ④認知症や高次機能障害によるもの→コミュニケーションをはかり、できるところからやっていく。
無理強いはいしないなど

問6.

口腔乾燥が強く、粘膜面に乾燥痂皮などがこびりついている場合の口腔ケアの注意点について4つ述べよ。

- ①口腔の保湿をはかり、口唇、粘膜をまず潤す。
- ②附着物を十分ふやかしてから除去をおこなう。
- ③附着物を無理してはがさない。
- ④強くこすらない。
- ⑤できたら水分を用いてケアをおこなう。
- ⑥口腔リハをとりいれることで口腔機能の向上を図る
- ⑦口腔乾燥の予防(保湿剤の使用、口呼吸の防止、加湿器の使用など)
- ⑧全身状態(脱水、服薬内容、熱発など)の確認をおこなう

問7.

嚥下造影検査(VF)の目的を4つ述べよ。

- ①誤嚥や喉頭侵入の有無
- ②残留の有無と残留部位の確認
- ③誤嚥のタイミングの確認
- ④食形態の選択
- ⑤姿勢の選択
- ⑥代償的嚥下法の確認 など

問8.

摂食・嚥下障害患者が抱える特有のリスクを3つ挙げなさい。

- ①誤嚥や窒息
- ②肺炎
- ③低栄養
- ④脱水
- ⑤QOLの低下

問9.

食塊の咽頭への送り込みに問題がある患者に適した食形態の特徴を5つあげなさい。

- ① 味のはっきりしているもの
- ② 香りがあるもの
- ③ 食べ物の硬さが均一でまとまりやすいもの
- ④ 食塊形成がしやすいもの
- ⑤ 適性の粘度があり、喉にくっつかないもの
- ⑥ 滑らかに咽頭通過できるもの
- ⑦ 温度は冷たいもの、もしくは温かいもの
- ⑧ 重量感のあるもの

問10.

この症例の問題点を4つあげ、その対応策を述べよ。

問題点

- ①食事摂取量や体重の減少
- ②全て混ぜてかき込んで食べようとする
- ③隣の人のお事に手を出す
- ④こぼしの量が多い

対応策

- ①介助の検討
- ②一品ずつの提供
- ③隣の人と距離とる、別室で食べてもらう
- ④エプロンの着用、自助具、食器、食形態の検討

問11.

以下の病態を持つ患者の摂食・嚥下時の障害について、適切な語句を下欄から選び、そのアルファベットを記入せよ

- 1. e
- 2. g
- 3. b
- 4. d
- 5. a

問12.

()の中に入れる適当な語句を下欄から選びそのアルファベットを記入せよ。

- 1. d
- 2. h
- 3. g
- 4. e
- 5. b

問13.

この症例への間接的嚥下訓練としてどのようなプログラムを立てるか書きなさい。

- ・口唇閉鎖訓練
- ・舌の可動域訓練
- ・構音訓練
- ・アイスマッサージ

問14.

代償的嚥下法を3つ挙げてください。

- ・嚥下の意識化
- ・横向き嚥下
- ・うなづき嚥下
- ・息こらえ(息止め)嚥下
- ・複数回嚥下
- ・交互嚥下 など

問15.

嚥下第2期(咽頭期)にみられる現象はどれか。

3

問16.

嚥下訓練に適しているのはどれか。

4

映像問題

【症例:1】

1. この症例において認められる所見を選択せよ。(複数回答可)

b. c. f. g.

2. この患者に適すると考えられる食形態を選択せよ(複数回答可)

e. (またはc.)

【症例:2】

この患者に最も適している食形態と姿勢の組み合わせを選択せよ.

d.

【症例:3】

VF 及び下記食事状況の記載から, この患者への食事場面の調整として必要な項目を選択しなさい。

(複数回答可)

b. d. e. f.

【症例:4】

食事場面の映像を見て, この患者の食事場面における問題点と対処法を書きなさい.

問題点

①一口量が多い ②ペースが速い ③咀嚼せず丸飲みになっている

対処法

①自助具の変更 ②小鉢などに少量ずつ取り分ける ③食形態の検討 ④介助者がペース配分をおこなう